２/11 エンジニアキャリアセミナーまとめ

１　各企業の説明より

各企業の説明を元に箇条書きにして以下にまとめる

[Wantedly]

・Code with Arguments (論理を持ってコードをかけ・議論を持ってコードをかけ)

・エンジニアとデザイナーのみ

[cookpad]

・企業説明は　https://youtu.be/sHnvY2lTUMg　参照

・二十年前よりある会社

・企業紹介を主に担当していた星北斗さんはエンジニアが少ない時期からいた方

・６８か国対応していて様々な地域のレシピがみられる

・“料理を楽しむ場“の提供

・38％エンジニア

・ハッカソンあり

[サイバーエージェント]

・峰岸さん

・印象　色んな事業をしている

・年功序列を廃止している企業であり、若手がバリバリはたらいている。内定者のみのチームがあるほど

・インターン多い

[DeNA]

・平子さん

・事業が多い

・Delight and impact the World

・エンターテイメントと社会問題解決の統合

・MOV×AI

・画像認識×AI

・AI創薬、画像認識によりがん検知

(culture)

・ことに向かう

・思ったことを自分のなかにとどめるのではなく発言させる

・常識について洞察する→今ある常識が常識でいいのか

・人は仕事で育つ

・全力コミット

[Pixiv]

・サービス18個

・232からアクセス

・3dモデルのHubがある

・毎週金曜日は勉強会

・

[VoyageGroup]

・笹本将兵さん（サッサーさん）

・人を軸にした事業開発

・300人規模、19年成長し続けている

・アドプラットホーム

・本質を見極めろ！！

・社内にバーがある（ほかの部署の人とも自由に飲める。定時後であれば無料）

・縦、横、斜めの関係

[メルカリ]

・奥田さん（おくあやさん）

・AI事業あり　→　最近、始まった

・メルカリエコシステム（途中）

・新たな価値を追求する企業

・適切なオファー　→　人によって給料が違うのかも

・MTCで技術を公表している

・顧客が多いためかデータは豊富

・データ×something

【個別ブースで聞けたことまとめ】

1. インターンには形式が三種類ある

→１日～2日のハッカソン形式

→2週間程度の中期インターン

→実戦形式（社員同様）の扱いでのインターン

2.長期インターンで評価されること

→即戦力、自走力

3.インターンに参加するためには

→勉強させてもらいますという姿勢はNG

4. インターンで何をするべきか

→実務が第一、その会社のcultureを見るべき

**【共通して言われたこと】**

**まずはアウトプット。その次にフィードバックをもらうこと。**

**作ったプロダクトに対してどういう理由で作成したかを明示できること**

**学び方を学べ**

**その時に何を課題としてどういう行動をどう考えてしたか**

**今夢中になっていることはあるか、夢中は努力に勝る**

**分厚い本を読めるのは今だけや！遊ぶことは大人でもできる！**

**本気の人を探せ**

**初速度大事、つまりは最初に入った会社でどれだけ成長できるかが大事**

**感想**

まずは馬鹿な質問にも真摯に答えてくださった企業の方々に感謝です。そして、こんないい機会にめぐり合わせてくれた達也に感謝です。色んな人を見てみたところ自分がいかに未熟であるか分からせられました。ここからどう変われるかそれは自分次第ですね。